

お札の顔が変わります！



財務大臣が紙幣と500円硬貨のデザインを2024年に刷新すると発表しました。

これまで長年にわたって親しまれてきた一万円札の福沢諭吉からバトンを受け継ぐのが、実業家の渋沢栄一です。渋沢は第一国立銀行（現・みずほ銀行）や京阪電気鉄道、東京瓦斯など多くの企業の設立に貢献しました。

また、日本赤十字社の設立に関わるなど社会貢献活動にも積極的でした。

五千円札の顔となるのが、津田梅子です。女子英学塾（現・津田塾大学）を設立した教育者です。女子教育の先駆者として、自由でレベルの高い教育を実践しました。

一千円札の顔となるのが、北里柴三郎です。日本の細菌学の父と呼ばれ、ペスト菌の発見や破傷風の治療法の開発など感染症医学の発展に貢献しました。

また、裏面のデザインも刷新されるほか、新しい偽造防止技術も導入されます。

いざとなったら…
この制度

知らなくても生活はできるが、知っていたらもっと安心して生活できる。そんな制度やサービスをご紹介します。



「日常生活自立支援制度」

表面でも少し触れましたが、国の制度として運用されているのが「日常生活自立支援事業」です。実際の運営は社会福祉協議会が担っています。

主なサービスとして、①どの介護サービスを利用すれば良いかわからない時に情報提供や相談を受けることができます。②日常の金銭の管理（病院代の支払い、預貯金の出し入れ等）、③通帳や証書等貴重品の預かりがあります。

お金に関わる相談にも乗ってもらえます。また、定期的な見守りもあるため、安心して生活を送ることができます。

ただ、利用したい方が多く現在は多くのところで順番待ちとなっているようです。現状では他に受け皿が少ない、地域によっては全くなため、順番が回ってくるのを待つしかない状態です。限られた予算できめ細かい運営しているため仕方がない部分はありますが、早急な改善が求められます。

サービスについて詳しく知りたい方はお近くの社会福祉協議会までお問い合わせください。

お金クイズ

知っているところちょっと得した気分♪

日本銀行が初めて発行したお札である「拾円券」通称「大黒札」は、紙質を強めるためにある食品の粉を混ぜて作られました。その食品とは何でしょうか？

「大黒」の「黒」は「黒糖」のことです。大黒札は黒糖を混ぜて作られました。

もう少しお金について知りたいと思ったら

障害のある子が「親なきあと」にお金で困らない本
渡部 伸（著） 主婦の友社



著者は「はじめに」で、まずは知ることから始めましょう。（中略）漠然とした不安をかかえた状態を抜け出し、将来に向けた安心を手に入れることができることと思います。と述べています。本紙も同じ思いで発行しています。

● 相談会を開催しています ●

当法人では、お金の管理に関する相談会を事務所会議室にて毎週水曜日午後 1 時～3 時に開催しています。不安やお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

発行：特定非営利活動法人 NPO かなびの丘

〒591-8032 堺市北区百舌鳥梅町 1-18-1

TEL. 072-255-6336 / FAX. 072-205-5050

本事業は日本財団の助成を受けています

we
CAN
NAVIGate
you

あなたを守る制度があります
あなたを守る人がいます